

## 感染症の発生について(情報提供)

## 【概要】

市内医療機関から腸管出血性大腸菌(O157)感染症の発生届が当保健所がありました。  
内容につきましては、下記のとおりです。  
これは感染症法第16条に基づく発生動向情報であり、感染予防について呼びかけるものです。

病名	腸管出血性大腸菌(O157)感染症				
年齢及び性別	17歳・女性				
職業	高校生				
住所	四日市市				
発病年月日	平成28年10月20日				
診断年月日	平成28年10月29日				
【患者発生の経過】	<p>10月20日 腹痛、吐き気あり。</p> <p>10月24日 腹痛持続、食欲ないため市内医療機関受診、入院。</p> <p>10月26日 腹痛消失。</p> <p>10月27日～28日 腹痛なし。軟便～水様性下痢(1回/日)あり。</p> <p>10月29日 10月27日の検便結果が判明し、腸管出血性大腸菌(O157)感染症と診断。 10月29日現在、入院中ですが症状軽減し快方に向かっています。</p>				
【防疫措置】	家族・接触者の健康状況調査及び検便の実施				
【四日市市内の腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】	平成28年1月1日～平成28年10月29日現在までの本件含む ( )内は三重県内の発生状況				
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
患者	12 (50)	6 (44)	5 (39)	5 (27)	6 (24)
保菌者	3 (24)	7 (18)	1 (19)	2 (10)	1 (13)
計(感染者)	15 (74)	13 (62)	6 (58)	7 (37)	7 (37)
【自分で出来る予防対策】	<p>1 予防の3原則</p> <p>①加熱(菌を殺す) この菌は熱に弱く、75℃、1分間の加熱で死滅します。 肉の生食は避けてください。特に子どもや高齢者は注意してください。 ひき肉は、十分に加熱をしましょう。 焼肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。 井戸水は、煮沸してから飲んでください。</p> <p>②迅速・冷却(菌を増やさない) 調理した食品はすぐに食べましょう。</p> <p>③清潔(菌をつけない) 手指や調理器具は十分に洗いましょう</p> <p>2 暴飲暴食は避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保ってください。</p> <p>3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けてください。</p>				

## 連絡先

四日市市保健所 保健予防課(059-352-0594、059-352-0595)

担当： 久志本、松浦